

社会活動報告書

[活動期間 2019.1.1-12.31]



SHIMANO

人と自然のふれあいの中で、 新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する

シマノは上記のコーポレートミッションに則り、長年にわたって自転車・釣り・ロウイングそれぞれの世界で、お客様にこころ躍る製品をお届けするとともに、それらをご愛用いただく場や機会をご提供し、健康的で潤いのあるライフスタイルを提案してまいりました。

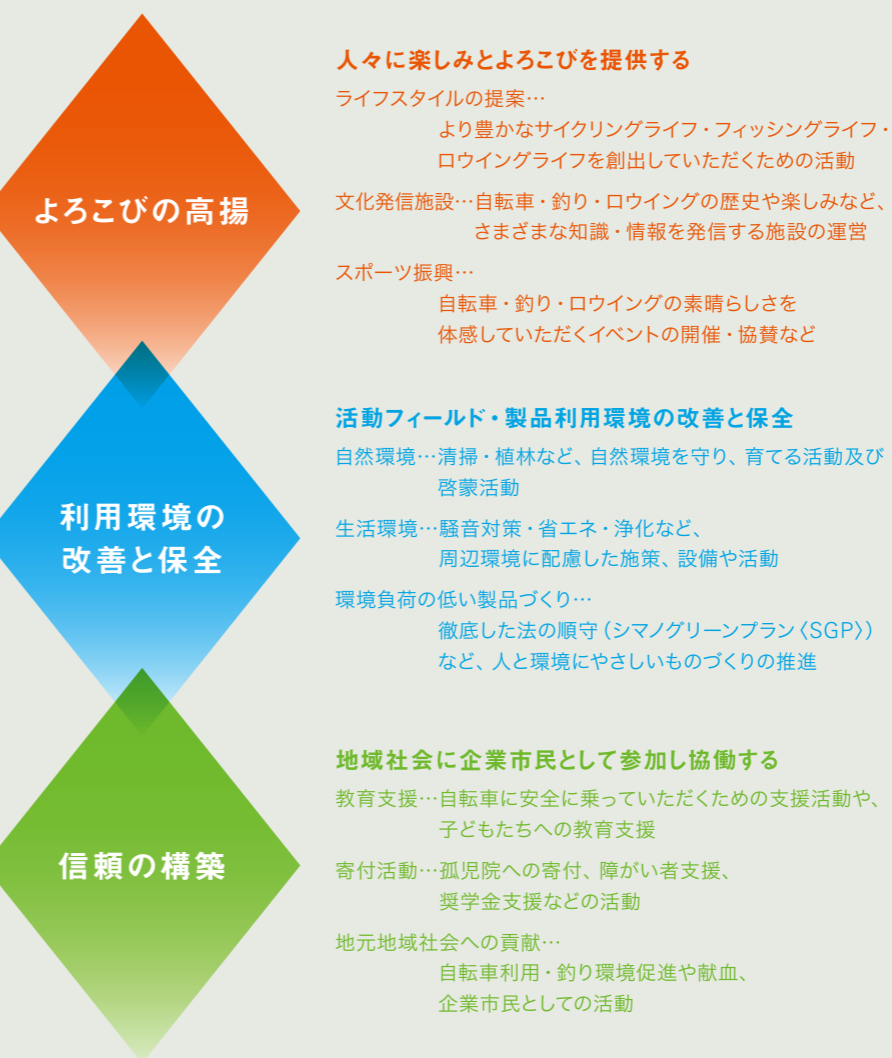
こうした活動は、そのフィールドである美しい自然と、人々の安心・安全な生活なしには成り立ちません。

私どもはこれまでも、これからも、一企業市民として地球を大切に、地域社会と協業し、世界共通の社会課題に取り組み、持続可能な世界の実現に少しでも貢献できるよう、いっそう積極的な活動を行ってまいります。

チームシマノ社会活動方針

「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」という当社の使命のもと、チームシマノは「よろこびの高揚」、「利用環境の改善と保全」、「信頼の構築」の3つを柱として、それぞれの社会活動方針に従って世界中で活動を推し進めてまいります。

またシマノでは、自らの事業に近い分野であること、そして地元への貢献であることを基本とし、身の丈にあった活動を地道に、継続的に行うことが大切であると考えています。



コーポレートミッション 02

チームシマノ社会活動方針 03

社会活動報告書 発刊にあたって 05

企業価値の向上を目指して 06

こころ躍る製品を
シマノを支える人づくり
自転車・釣り・ロウイングの社内啓蒙活動
安全性の強化

よろこびの高揚 12

自転車・釣り・ロウイングの楽しさをより多くのお客様へ
—— Shimano Experience Center
その他の活動
レース・イベントの主催・協賛

利用環境の改善と保全 22

世界に広がる環境負荷の軽減を配慮した排水処理
シマノグリーンプラン
身近な環境に対する取り組み

信頼の構築 30

安全で楽しい自転車利用を目指して
子どもたちの教育支援
寄付活動
企業市民として

社会活動報告書を読んで 38

社会活動報告書 発刊にあたって



世界経済や社会情勢が大きく揺れ動いた2019年は、先進国・途上国にかかわらず、地球市民として互いを思いやることの大切さが浮き彫りになった年であったと思います。

その一方で、加速度的に進化するAIやIoT技術は、日々の暮らしを格段に便利にする反面、情報過多や仮想現実に対する得体の知れない不安や疲弊も生み出しています。

また、環境問題への対応は待ったなしの状況となり、国を越え、業界を越え、あらゆる組織・団体が積極的に関与することが強く求められています。

このような時代にこそ、先進技術を活用し、環境にも配慮したものづくりに徹し「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」という当社の使命を着実に実践していきたいと考えています。

お蔭さまで、当社は2021年3月に創業100周年を迎えます。時代の変化に柔軟に対応しつつ、日本発の開発型製造業として一層精緻なものづくりを追求するとともに、こころ躍る製品をお客様にご提供することにより新しい自転車文化・釣り文化を創造する「価値創造企業」であり続けられるようさらなる努力を重ねてまいります。

この報告書が私どもをご理解いただく一助となれば幸いです。

株式会社シマノ
代表取締役社長
島野 容三

企業価値の 向上を目指して

〈自転車部品事業〉

■ 日本国内向け電動アシストユニット
「SHIMANO STEPS」E6180/E5080シリーズ
ヨーロッパを中心に世界中でますます広がりを見せているEバイク（電動アシストスポーツバイク）は、日本国内でも急速に普及しつつあります。さらに幅広い層のユーザー様に使いやすさ、楽しさを味わっていただけるよう、E6180/E5080シリーズをラインアップに加えました。脚の力をより効率よく伝えるとともに、バイク全体の重量バランスを追求するなど、Eバイクとしての完成度を高めています。

■ マウンテンバイク (MTB) 用コンポーネンツ
「SHIMANO DEORE XT」M8100シリーズ
シマノ初の MTB 専用コンポーネンツとして長きにわたり、ユーザー様から高い信頼を得てきた「SHIMANO DEORE XT」がモデルチェンジ。ペダリングの負荷がかかってもスムーズな変速が可能なドライブトレイン、操作感が向上したブレーキレバーなど、本格的な MTB コンポーネンツとして、シマノならではの高性能を実現しています。

■ グラベルロードバイク用コンポーネンツ
「SHIMANO GRX」
ドロップハンドルタイプの自転車に太いタイヤを装着し、未舗装道路での長距離ライディングを楽しむグラベルライド。北米を中心にファンが増加中のこの新しい楽しみをサポートするコンポーネンツとして「SHIMANO GRX」が誕生しました。また、高剛性なソールに歩行可能な SPD システムを取り入れたグラベルライド用シューズ「RX8」も同時に発売。グラベルライドの楽しみをトータルに引き出せるよう、コンポーネンツから用品までトータルでご提案しています。

こころ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「こころ躍る製品」を社会に提供することです。使いやすく快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具はもとより、ウェアやシューズなど、それぞれの世界をより楽しく演出する製品をお届けすること。そして自然とともに楽しむサイクリング・フィッシング・ロウイングの素晴らしさをお伝えすることで、お客様により豊かなライフスタイルを提案していきたいと考えています。



SHIMANO STEPS E6180シリーズ



SHIMANO DEORE XT M8100シリーズ



SHIMANO GRX RX800シリーズ

RX8

〈釣具事業〉

■ シマノの軽量スピニングリール「Vanquish」
新「Vanquish」は、より軽く、より強く、より飛ばせるリールに進化。前作に比べ最大40gの軽量化を実現し、感度・操作性をアップしました。また HAGANE ボディ、HAGANE ギアといったシマノの誇る技術により、耐久性・剛性も前作からの大幅なアップを実現しました。

■ 電動ジギング用リール「Beast Master 2000 EJ」
「メタルジグ」という小魚に似せた金属製のルアーを使って、ブリやヒラマサ、真鯛やヒラメなどを狙うジギング。電動リールを使うことで楽しみが広がる一方、従来の製品では耐久性が十分ではなかった状況に対し、シマノはジギング対応の電動リールを開発しました。人の手では不可能なスピードでジグを動かせるようになることで、速い動きにのみ反応する魚を釣れる可能性も高まります。同時に、電動ジギングに最適なロッド・ルアーも開発し、システムティックプロダクトとしてジギングの新たな楽しみを提案します。

■ ICASTにおいてシマノ「SLX DC」「Stradic FL」POWER PRO「Moon Shine Braid」が受賞

アメリカ・フロリダ州オーランドで開催された、世界最大級の釣具展示会 ICAST (International Convention of Allied Sportfishing Trades)。当社製品を多くの方にご覧いただくだけでなく、実際に製品を手にとり当社の技術を体感していただきました。「SLX DC」「Stradic FL」がそれぞれ「Best New Freshwater Reel」賞と「Best New Saltwater Reel」賞を受賞しました。また、POWERPROの「Moon Shine Braid」が「Best Fishing Line」賞を受賞しました。



Vanquish 2500S



BeastMaster 2000EJ



SLX DC



シマノを支える人づくり

Global リーダーシップ養成プログラム Shimano Leadership Development (SLD)

SLDは、2000年に発足した、リーダーシップ育成を目指す人材開発プログラムです。その一環であるSLDディーラー派遣活動は、チームシマノメンバーが海外のディーラー様のご協力のもと、メカニックや販売員として実地研修を行うなかで、製品が売れる現場や現地の文化を肌で感じ、さまざまな交流を通じて行動力や思考力を磨くことを目的としています。2019年度も6名が世界6か国に派遣されました。



● 新入社員研修

シマノ本社では、毎年新入社員に対して、約3週間の集合研修を実施しています。新入社員は「和して厳しく」の精神に基づき、社会人としての基本はもちろん、シマノで働くにあたって、大切にすべきことなどを講義や先輩社員へのインタビューなどを通じて学びます。その後、それぞれの配属先に移り、研修で学んだことを実践し、チームシマノメンバーの一員として価値創造に励んでいきます。



Global 社員教育

当社では、各国の研修において企業理念やものづくり思想、企業文化のさらなる浸透に力を入れています。現在2021年の創業100周年に向けて、社員や元社員にインタビューを重ね、経営史や製品開発、文化創造への取り組み、拠点の広がりなど様々な観点の動画を作成しています。2019年より、これらの動画を研修の目的や受講者の職種や階層などによって組み合わせ、各拠点で活用しています。100年の歴史の中で当社が培ってきた企業文化から、現在、そして未来にも変わらず求められる本質を学ぶことで、世界中に広がるチームシマノメンバーによる共通の企業理解とチームシマノの強化を図ります。



本社2年目研修



本社
キャリア採用者向け研修



シマノ昆山での研修



シマノヨーロッパでの研修

Global 海外拠点のリーダー研修 '15年スタート Learning Team Shimano Program

当社では、海外拠点のマネージャー候補者向けリーダー研修を行っています。創業の地・堺で当社の歴史やDNAに触れるとともに、トップマネジメントを交えて現在の経営課題について考える機会を設けています。また、現在抱える課題解決に本社のメンバーと協力して取り組むプロジェクトなども取り入れ、拠点を越えたコミュニケーション、ネットワークづくりも促進しています。

● 災害に備えた取り組み

シマノ本社では各建物・フロアごとに自衛消防組織を結成し、災害が起こった際に速やかに避難や誘導を行えるよう訓練しています。また、食糧や水を備蓄するなど、災害に備えた様々な取り組みを行っています。



USA 応急処置対応の担当者を配置 '06年スタート

Innovative Textiles, Inc. は各部署に応急処置対応の担当者を配置しています。緊急時には医療従事者が到着するまでの間、応急処置ができる訓練を受けています。

USA クロストレーニングプログラム '17年スタート

Innovative Textiles, Inc. は従業員が社内の様々な部署を異動し、新たなスキルを学ぶ機会を提供しています。この活動は、従業員の満足と働く喜びの向上につながっています。

● 釣り研修を実施 '14年スタート

シマノ上海では、従業員に最新の製品を知り、釣りの技術を身につけてもらうため、毎年釣り研修を実施しています。同時に、新入社員が早く仕事に慣れるよう、シマノの企業文化を紹介しています。



● 大卒新入社員の研修とオリエンテーションを実施 '11年スタート

シマノ昆山では、毎年新入社員の研修を行なっています。



● 緊急時応急処置チーム (CERT) 10周年 '09年スタート

シマノシンガポールのCERTは、設立10周年にあたり、災害救助や応急処置などの実演を行ったほか、シンガポール市民防衛庁を訪問しました。



EU シマノアカデミー '13年スタート

シマノアカデミーは全ヨーロッパ拠点の管理職や若手リーダー、新入社員を対象にした教育プログラムです。個人やチーム、またはビジネスの成長を促し、シマノの強みをさらに強化するものです。従業員のキャリアアップに繋がる効果的なプログラムとして役立っています。



● 新入社員の研修を実施 '12年スタート

シマノ天津では、毎年新入社員の研修を行っています。

● 緊急事態対応訓練を実施 '03年スタート

シマノマレーシアでは、火災および機械と保管場所からの化学物質や油の流出を緊急事態と定義し、対応計画の手順を確立しました。各工場に緊急事態対応チームを設置し、火災対応や避難の訓練を実施しました。




自転車・釣り・ロウイングの社内啓蒙活動

〈メカニック〉




 (オランダ)
メカニック講座を実施
'17年スタート




 (オランダ)
メカニック講座とライドを実施
'19年スタート

〈自転車〉




 (イタリア)
SHIMANO STEPS デー




 (マレーシア)
宝探しサイクリングを開催
'06年スタート




 (中国)
サイクリングイベントを開催
'13年スタート




 (台湾)
南投地方でサイクリングイベントを開催
'18年スタート




 (シンガポール)
グループサイクリングを開催
'10年スタート




 (オーストラリア)
スタッフライドを開催
'09年スタート




 (ベルギー)
製品テストも兼ねた懇親ライドを開催
'16年スタート




 (ベルギー)
Tour Of Flandersのコースを走るイベントを開催
'12年スタート

〈釣り〉




 (オランダ)
子ども向け釣りイベントを開催
'15年スタート




 (ポーランド)
釣りイベントThe Kids Dayを開催
'19年スタート



 (イタリア)
釣りトーナメントを開催
'19年スタート




 (インドネシア)
釣り大会を開催
'07年スタート




 (中国)
釣り大会を開催
'13年スタート




 (マレーシア)
釣り大会を開催
'07年スタート




 (シンガポール)
釣り大会を開催
'10年スタート



 (ドイツ)
子ども向け釣りイベントを開催
'19年スタート



 (カナダ)
釣りイベント「Warehouse Wobbler」を開催
'16年スタート



 (カンボジア)
ボートレースチームに参加
'13年スタート

〈ロウイング〉

安全性の強化

〈シマノ昆山の取り組み〉

シマノ昆山(中国・クンジャン)では、かねてより工場の労働安全教育と社員の安全意識の向上に力を入れています。2007年にはES(Environment and Safety)部を立ち上げ、高品質な製品を生産するため、安全第一の工場をつくり上げることを目標に安全活動を実施。継続的な努力が実を結び、2016年末には、国家安全生産標準化の2級を取得しました。

2018年昆山市労働安全 TOP10 企業に選ばれました

2019年1月、中国・昆山市は、イノベーションの効率化と質の高い開発の促進に関する市全体の表彰会議を開催し、163社の先進企業を表彰しました。シマノ昆山は、「2018年昆山市労働安全 TOP10 企業」に選出。これまでシマノ昆山が積極的に取り組んできた安全活動への評価と、今後の活動に対して力強い激励をいただきました。

今後も労働安全管理にさらに磨きをかけ、社員の労働安全を効率的に保証し、「2020年までにゼロ災害・ゼロ事故を達成する」というゴールに向かって邁進します。ひいては昆山経済技術開発区、さらに昆山市全体の労働安全管理へのいっそうの貢献を目指します。

安全教育を行うEHSトレーニンググループをオープン

安全教育プロセスのさらなる効率化と深化をめざし、2019年1月にEHS*トレーニンググループを開設し、実際の製造現場で使用される16の機械を配備しました。

研修では、それぞれの機械が持つ安全上のリスクを学び、実際に起こりうる事故のシミュレーションを実施。百聞は一見に如かずということで、感覚デバイスを使用し、参加者は自らの触覚や視覚、聴覚を通じて事故を疑似体験しました。

今後もこのような活動を継続し、一人ひとりが安全の重要性を再認識することで、持続可能な健康・健全な企業を目指します。

*Environment (環境)、Health (健康)、Safety (安全性)



授賞式にて

シマノ昆山メンバー一人ひとりの意識改善と努力によって実現した受賞



シマノ昆山
Soo Ming Hwa
ゼネラルマネージャー



一人ひとりの安全意識の向上が、健康な企業を実現します



様々な方法で、機械が起こしうる危険を体験



よろこびの高揚

—人々に楽しみとよろこびを提供する

「こころ躍る製品」——それは人々に自転車・釣り・ロウイングの楽しさを満喫していただくものに他なりません。そして、その楽しさをより多くの人々に伝え、その機会を提供していくことも、当社の重要な活動のひとつです。当社が主催や協賛している様々な自転車・釣り・ロウイングのイベントは、人々の楽しみのある場であるとともに、交流の場となるものとして大切にしています。今回は、2019年4月にオランダ・ファルケンブルグに新しくオープンした Shimano Experience Center (SEC)を中心に、当社が長年にわたって取り組んでいる自転車・釣り・ロウイング文化の推進・創造についてご紹介します。



ファルケンブルグ (Valkenburg) は、オランダ南部のドイツ・ベルギーの国境に近い街。サイクリストにも有名な観光地です。ここにオランダ最古の醸造所を改修し、ホテルなどを併設した新しい商業施設「PAR'OURSE」が生まれ、SEC はその中に入居しています。

自転車・釣り・ロウイングの楽しさをより多くのお客様へ — Shimano Experience Center

Shimano Experience Center (SEC) は、より多くのお客様にシマノの製品に直接触れ、最新の技術を体験いただく場を提供することを目的としてオープンしました。ここでは、自転車部品、釣具、ロウイングというシマノの事業領域すべてを集約しており、豊富な展示や、施設内のバーチャルディスプレイやシミュレーター、そしてファルケンブルグの美しい牧歌的な風景の中での実体験を通して、製品の良さを感じていただけます。

また、専門スタッフがお客様に合わせた最適な製品のご提案を行ったり、販売店様のご紹介を行ったりと、自転車、釣り、ロウイングをより楽しんでいただくためのサポートもご提供しています。

施設内にあるラウンジやワークショップエリアでは、自転車、釣り、ロウイングにまつわる様々なイベントを開催しています。また当商業施設に併設されているホテルやレストランとも協働し、お客様のご希望に沿った長期滞在のパッケージイベントの企画など、活動の幅を広げていく予定です。

SEC は今後とも、多くの人々にシマノ製品や自転車、釣り、ロウイングの楽しさを訴求し、お客様が訪れるたびに新たな発見や体験を提供し続けられる場所を目指していきます。



Shimano Experience Center の6つのコーナー

SECは、主に6つのコーナーによって構成されています。シマノ製品の展示をはじめ体験機材、そしてお越しいただいたお客様に一息ついていただけるラウンジやイベント開催のためのスペースも完備しています。

① SHIMANO WELCOME LOUNGE ② WORKSHOP

エントランスを入ると、SHIMANO WELCOME LOUNGEが広がります。ここでは、ソフトドリンクやパティスリーをお手軽に楽しんでいただけます。また、ファンストアを併設、Tシャツやキャップ、サイクリンググッズなど、ここでしか買えないSECオリジナルアイテムを販売しています。WORKSHOPコーナーは、イベントや講習会などが行えるスペースとなっています。

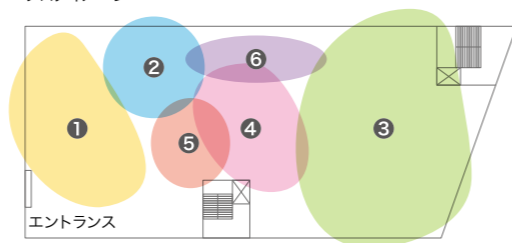
③ BIKE WORLD

MTB、Eバイク（電動アシストスポーツバイク）、ロードバイクなど様々なカテゴリーの完成車や、自転車の各部品をその機能ごとにわかりやすく展示しています。

また、コンポーネントの特徴を説明したプロモーションビデオやプロライダーの走行シーンなどの映像もご覧いただけます。サイクリングシミュレーターはロードバイク用とMTB用2種類の製品を体感いただくとともに、ライディングの楽しさを知っていただくきっかけにもなっています。

また、バイクフィッティングスペースでは、体験者の身体に合わせたフィッティングデータを確認しながら、ベストな自転車のご提案を行っています。

フロアイメージ



④ FISHING WORLD

多様な釣りシーンのパネルや映像とともに、その中で使用される製品を展示しており、手に取って体感いただけます。また、建物の隣の池では、実際に製品を試していただくこともできます。

⑤ ROWING EXPERIENCE

2台のシミュレーターを設置。SRD*システムを使ってロウイングを疑似体験していただけます。

*シマロウイングダイナミクスの略称



⑥ HERITAGE CLOUD

シマノの歴史を映像でご覧いただけるコーナー。



様々なイベントを開催

SECでは、様々なイベントを開催しています。2019年5月には、サイクリングイベント「KPMG Gold Race」がSECをスタート地点として開催され、シマノもサポートを行いました。

SECを訪れるお客様は業界から一般まで幅広く、ご来店目的も様々です。今後もファルケンブルグエリアの自転車ライドや、それに付随した会合、社会見学、釣り大会など、あらゆるイベントを、お客様のご希望に合わせて進化させていき、自転車・釣り・ロウイングをより楽しんでいただける拠点へと成長していきたいと考えています。



その他の活動

● (日本)

シマノレーシングの活動 '73年スタート

1973年発足の「シマノレーシング」。その活動は時代とともに変化しながらも、つねに日本の自転車競技シーンをリードしてきました。近年は「世界トップレベルで活躍する選手の育成」をチームフィロソフィーに掲げて活動し、その目標に一歩一歩着実に近づいています。また、日本の自転車文化の向上と自転車競技人口の拡大に向けた貢献活動も精力的に行っています。

■ 入部正太郎選手が全日本選手権ロードレースを制覇

2019年6月30日、静岡県・富士スピードウェイにおいて開催された「全日本選手権大会ロードレース」で、入部正太郎選手が優勝を果たしました。

■ 地元小学校との交流

シマノレーシングは、毎年地元の小学校の皆様と交流する機会をいただいています。今回は堺市立安井小学校を訪問し、堺市周辺で自転車産業が盛んになった歴史や、ユネスコ世界文化遺産に登録された仁徳天皇陵古墳前にて毎年開幕するツアー・オブ・ジャパンについて説明しました。

最初は緊張気味の児童たちもすぐに打ち解け、選手と笑顔で会話をしながら、最新のロードバイクに興味深げに触れていました。



自転車博物館 サイクルセンターの運営協力 '92年スタート

本社のある堺市に1992年に開館した自転車博物館サイクルセンター（運営：公益財団法人シマノ・サイクル開発センター）。国内で唯一の自転車専門の登録博物館として、自転車が発明された1818年のドライジーネ（レプリカ）からオリンピック出場選手が使用した最新の自転車まで、約300台を保有。自転車の展示だけでなく、自転車のあるライフスタイルを提案するための各種イベントや講習など、様々な活動を行っています。



アクセス：JR 阪和線「百舌鳥（もず）」駅から徒歩13分
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-2
TEL：072-243-3196 / 営業時間：10:00～16:30 / 定休日：月曜日

OVE LIFE CREATION SPACE OVE (オーブ) '06年スタート

OVEは新しい自転車文化の発信基地として活動しています。行き先を決めて走るのではなく、ちょっと目線を変えてその道のりを愉しむ。そんな散歩感覚で、気ままに自転車を走らせる「OVE 散歩」をはじめ、多彩なイベントを通じ、自転車のある豊かなライフスタイルの提案を行っています。



アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線「表参道」駅
または「外苑前」駅から徒歩8分
〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8 KDXレジデンス南青山1F
TEL：03-5785-0403 / 営業時間：10:00～19:00 / 定休日：月曜日

🇸🇬 (シンガポール)

Shimano Cycling World '14年スタート

2014年9月、「東南アジアにおける自転車文化の発展」「ライフスタイルとしての自転車の推進」「シマノブランドの浸透」を目的として、シンガポールにオープンした体験型展示施設 Shimano Cycling World。ご来場の皆様に、自転車を通じたより豊かなライフスタイルを提案しています。サイクリングコースやメンテナンスに関するワークショップなど多彩なイベントも開催し、2019年は約42,000名のお客様に会場いただきました。





(日本)

SHIMANO SQUARE

シマノスクエア '17年スタート

SHIMANO SQUARE は、「出会い」「価値体験」「感動体験」「癒し、くつろぎ」を提供する場として、ゆったりしたカフェスペース、自転車・釣りに関する情報をご提案するラボスペースを設けています。これまで自転車、釣りになじみのなかったお客様にも、直接シマノ製品に触れることで、上質な自転車、釣りの世界の楽しさを知っていただき、新しいアーバンスポーツライフの体験や価値を共有していただくことを目指しています。



アクセス：JR「大阪駅」直通/阪急線・阪神線・地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車すぐ
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル4F
TEL：06-4256-6789 / 営業時間：10:00～21:00 / 定休日：月曜日
[WEB] <https://www.shimanosquare.com>

フィッシング・カフェ プロジェクト & シマノTV

'00年スタート

釣り人が気ままに交流し、新しい釣り文化を創造していく「フィッシング・カフェ プロジェクト」。年3回発行される雑誌と、スカパーフェクTV・BS 釣りビジョンで放送されるテレビ番組、最新情報をお届けするウェブサイトを通じて、釣りをめぐる様々な話題や情報を発信しています。2007年からはウェブコンテンツとして24時間365日楽しめ、世界規模のフィッシングチャンネル「シマノTV」を開始。充実した内容で、ビギナーからベテランまでお楽しみいただけます。



雑誌「Fishing Café」



フィッシングチャンネル「シマノTV」
<http://tv.shimano.co.jp/>

自転車と暮らしの情報ツール「Cyclingood」

'13年スタート

「自転車と一緒に作る健康的で豊かな暮らし」を一人でも多くの方に知っていただくことを目的として、「Cyclingood (サイクリングッド)」を発信しています。「自転車と健康」の関係について大学と共同研究を行い、その結果を掲載するなど様々な情報を社会に向けて発信し、自転車文化の向上に役立てたいと考えています。



ウェブサイト
「Cyclingood Web」



フリー情報誌
「Cyclingood」

レース・イベントの主催・協賛

レース本場の欧米からアジアや中南米まで、世界各地で自転車や釣りのレース・トーナメント・イベントを主催、また協賛しています。

主な自転車レース・イベント

〈主催〉



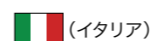
- ① シマノ鈴鹿ロード (三重) '84年スタート
- ② SHIMANO Biker's Festival (長野) '91年スタート



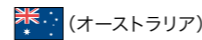
- ③ ツール・ド・フランス記念イベント '19年
- ④ The Lazer Century Ride '19年



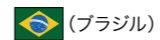
- ⑤ Tuesday Night Thunder '18年スタート



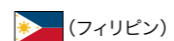
- ⑥ Omar di Felice とのソーシャルライド '19年スタート



- ⑦ MTB グランプリシリーズ '09年スタート
- ⑧ Shimano SuperCrit '14年スタート



- ⑨ Shimano Fest '10年スタート



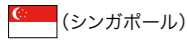
- ⑩ Shimano Dirt and Play '10年スタート



- ⑪ ジ・チェン (計成) 教室 '17年スタート



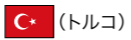
〈協賛・協力〉



12 OCBC Cycle '10年スタート



13 ツール・ド・しものせき2019 '06年スタート

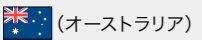


14 Presidential Tour of Turkey Road Race '08年スタート

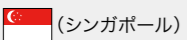


Global テクニカルサポートの派遣

トップレベルのプロレースだけでなく、世界各地の幅広いサイクルスポーツイベントにもサポートカーとスタッフを派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一にテクニカルサポートを行っています。



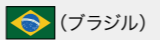
L' Etape Australia Gran Fondoでニュートラルサポート



シマノハイウェイチャレンジでサポート



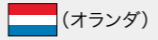
2019年には36イベント、延べ118日間のサポート



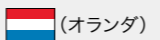
モビリティ月間のメカニックサポート



様々なレースにメカニックを派遣



ツール・ド・フランドルでサポート



アムステル・ゴールドレースでサポート

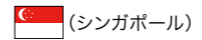


主な釣りトーナメント・イベント

〈主催〉



- 1 スケルトンカップ '19年スタート
- 2 キャスティングトーナメント '19年スタート



- 3 オープンハウス '14年スタート
- 4 投げ釣り大会 '16年スタート



- 5 様々な釣り大会を実施・協賛 '16年スタート



- 6 小売店との連携活動
- 7 次世代の釣り人に向けたイベントを実施・協賛
- 8 Tribal Gathering イベント '18年スタート



- 9 シマノジャパンカップ '84年スタート

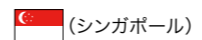


- 10 子ども向け釣りイベント '19年スタート

〈協賛・協力〉



- 11 Kid's Fishing Derby '19年スタート



- 12 Fishing with Dad '19年スタート



- Ontario Junior Bass Nation Championships



利用環境の改善と保全

— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力

地球環境 それはアウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドです。その保全のためにたゆまぬ努力を続けることは、当社にとって当然であり、基本的な命題です。製造過程において最大限環境負荷を抑えるため、様々な設備改善・革新につねに取り組むとともに、海岸や河川といったフィールドの清掃や環境保全活動にも積極的に参加しています。今回は、世界各地の生産拠点の排水処理の取り組みを中心に紹介します。

世界に広がる環境負荷の軽減を配慮した排水処理

当社の生産拠点では、環境負荷を軽減する排水処理システムの実現に積極的に取り組んでいます。各国・各地域の法規制・ガイドラインを順守するだけでなく、適切な排水処理は生産者の当然の義務とし、排水そのものの低減化や使用水のリサイクルなど、さまざまな角度からより健全な水資源の利用を目指しています。



シマノ下関工場の調整池 「写真：プレイスメディア」

〈各生産拠点の排水処理の取り組み〉

● 本社工場

本社工場では、法令順守はもとより、それよりも厳しい独自の基準を設定し、適切な排水処理を行っています。2014年から稼働している本社工場 SIP (Sakai Intelligent Plant) では、主に表面処理工程のアルマイト加工製品の洗浄において多量の水を使用します。製品の体積によって必要給水量を自動で管理するなど徹底した節水を行うとともに、排水を成分や濃度によって自動で分類・混合し、化学反応を起こすことで適切な基準値まで濃度を下げ、ろ過します。沈殿物は産業廃棄物として、適切な処理を行います。SIPの年間排水量は、旧工場と比べて約3割減を達成するとともに、排出する総水量の約3~4割を、工場内で再利用しています。

● シマノ下関工場

下関工場では2016年の新工場 SSF_IP (Shimano Shimonoseki Factory Intelligent Plant) 完成に伴い、新たな排水処理設備を導入しました。下水のほか、河川への放流も認められるこの地域では、特に高い排水基準の厳守が求められます。主に表面処理工程で発生した排水は、工場内にある排水処理場で適切に処理され、その一部は敷地内の調整池に振り分けられて最終的には河川に流されます。調整池では稚魚を放流・育てることで、工場排水の安全性を証明するとともに、生物の生息地(ビオトープ)としての役割も果たし、地域の豊かな自然を保存・再現する一翼を担っています。

● シマノ熊本


シマノ熊本では、ロッドの研磨工程で発生する排水を沈殿ろ過する循環型の設備を導入し、適切な汚泥処理を行っています。



 シマノシンガポール


シマノシンガポールでは、排水を含めた廃棄物の適切な管理を行うための委員会を設立するなど、節水や排水処理の効率化に積極的に取り組んでいます。排水処理プロセスや排水成分を常時モニタリングし、適切にコントロールしています。また、排出総水量の約4割を再利用するだけでなく、雨水貯留により社内で雨水を有効に使用する取り組みも開始するなど、水資源の効率的な利用を促進しています。



 シマノバタム


丘陵地に囲まれた工業団地にあるシマノバタム周辺は、様々な野生動植物の生息地でもあります。工場敷地内に構える排水処理施設で適切に処理された排水は、工業団地の下水に放流される前にタンクに一時保管され、その成分を詳細に分析し、基準値を満たしていることを確認した後放流されます。



 シマノカンボジア

シューズ生産工場であるシマノカンボジアは、他のシマノ生産拠点に比べて使用する化学物質は少量ですが、印刷板の洗浄等から出る排水に対し、ろ過システムを構築し適切な処理を行い、排水成分を管理しています。また、工場前の池に魚を放流し、排水の安全性を証明しています。



 シマノマレーシア


シマノマレーシアでは、2012年に表面処理工場内に排水処理プラントを構築しました。製造工程から発生した排水はこの処理プラントに集積され、環境省の排水基準に従って適切に処理されています。



 シマノフィリピン


シマノフィリピンでは、化学反応や圧縮・ろ過等の多くのプロセスによって適切に排水処理を行うとともに、工程内の節水にも積極的に取り組んでいます。



 シマノ昆山

シマノ昆山では、生産ラインの排水の一部から純水を作るリサイクルを実施、年当たり45キロトンの節水を行っています。また、汚泥乾燥技術を導入、年間120トン（水分含有量）の汚泥を削減しています。



 シマノ連雲港

シマノ連雲港では、敷地内に設置されている設備で排水を適切に処理しています。また、毎月の水の消費量を監視するなどし、節水活動にも力を入れています。



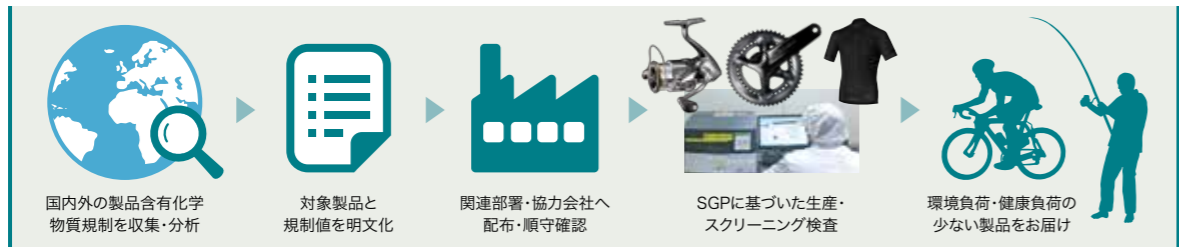
Global シマノグリーンプラン '04年スタート

当社では2004年以来、環境負荷の低い製品づくりを行うための指針として、シマノグリーンプラン (SGP) を策定し、協力会社と協働してその順守に取り組んでいます。

■ 環境負荷・健康負荷の低減

SGP は当社製品を構成する原材料・部品・製品に含まれる化学物質の規制値を明確にし、協力会社にも周知徹底することで、より環境負荷・健康負荷の少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けすることを目的とした調達基準です。年々厳しくなる国内外の法規制や顧客要求に応じて SGP を改訂し、協力会社へ理解と協力を要請するとともに、社内の分析機器や外部分析機関の活用により製品の適合確認を行い、お客様に信頼される製品づくりを進めています。

シマノグリーンプラン 図解



■ 法規制順守への取り組み

2019年は、新たな法規制への対応を進めてきました。

- ・新しい法規制を取り入れた SGP 改訂準備
- ・環境中で分解されにくく、生物への蓄積性が懸念されるペルフルオロオクタン酸 (PFOA) 削減
- ・EU RoHS*1、REACH*2等の順守をお客様へ伝達
- ・定期的な社内セミナーの開催

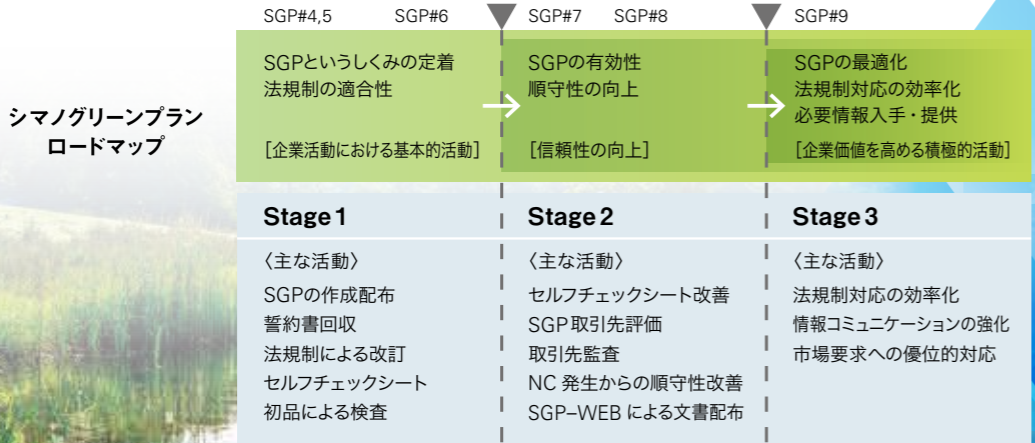
*1 電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令
*2 化学品の登録、評価、認可及び制限に関する規則



社内担当者向け SGP セミナー

■ ロードマップ

現在は Stage3の活動として、SGP9版を運用し、法規制対応の効率化と情報コミュニケーションを進めています。今後もサプライチェーン全体における製品含有化学物質管理を強化し、環境や健康に配慮した製品づくりを継続して推し進め、企業価値の向上を目指します。



本社のSGPコミッティを中心としたグローバルな組織的活動

身近な環境に対する取り組み

〈清掃活動〉

● シマノ熊本の清掃活動 '05年スタート

シマノ熊本では、2005年に現在の用地に移転して以降、毎年4月・10月の年2回、工場周辺の清掃活動を行っています。



● 下関工場周辺の清掃活動 '00年スタート

下関工場では、2019年4月に、工場周辺の清掃を行いました。119名が参加し、草・枝木や缶など合計106袋分のゴミを回収しました。また、10月にも同様の清掃を行い、99名が参加しました。



● 海岸清掃 in 彦島 '19年スタート

下関工場では、今回初の試みとして、2019年9月に下関市彦島西山海水浴場にて海岸清掃を実施しました。従業員の家族も含め33名が1時間にわたり長さ約300メートル、幅約60メートルの砂浜を清掃しました。



● シマノレーシングチームと走るロードクリーン作戦 '19年スタート

全日本チャンピオンの入部正太郎選手からシマノレーシングチームは、一般のライダー様と交流し、ツール・ド・おきなわで走行した道路の清掃を行いました。レース中に選手が捨てたボトル拾いやゴミを回収し、やんばる(沖縄本島北部地域)の世界自然遺産登録に向け環境美化に貢献しました。



● シマノ連雲港の清掃活動 '11年スタート

シマノ連雲港では、企業市民として、まちをきれいにするため、工場周辺の清掃をしました。



● 地域の清掃活動 '04年スタート

シマノマレーシアでは、ポンティアン地区議会および保健省と協力して、工場周辺の清掃をしました。



〈植樹活動〉

🇨🇳 100万本の樹プロジェクト '09年スタート

シマノ昆山は、NPOのShanghai Roots & Shootsと協力して、寧夏回族自治区のマオウス砂漠に植樹をする「100万本の樹プロジェクト」に参加しました。また今回、同NPOからCSR賞を贈られました。



🇨🇳 シマノ天津植樹デー実施 '12年スタート

シマノ天津では、地域の環境保全の観点から植樹デーを実施しており、2019年は21本の樹を植えました。



🇦🇺 川の再生に資金を提供 '18年スタート

シマノオーストラリアは、非営利団体のOZFISHに協力し、オーストラリア南東部の河口付近に1,500本の樹木・低木を植え、植生と魚を守るプログラムに資金を提供しました。



🇵🇭 工業団地の植樹活動に参加 '16年スタート

シマノフィリピンは、工場が位置する第1フィリピン工業団地(FPIP)で行われた植樹活動に参加しました。シマノを始め、工業団地内の様々な企業の従業員が積極的にこの活動に参加し、環境と地域に対する意識を高めました。



🇸🇬 国の植樹プログラムを支援 '14年スタート

シマノシンガポールは植樹プログラムに参加し、国立公園局の教育や緑化活動を支援しています。これまでに国内東部から中央部にある公園等に250本の植樹をし、2019年は50本を植えました。



🇹🇼 苗木の植樹を実施 '19年スタート

シマノ台湾の従業員とその家族は、健全な環境を促進するための非営利団体、慈心有機農業財団が主催する活動に参加し、台中の呉旗漁港の近くで苗木の植樹を行いました。



🇹🇷 お客様と植樹活動を実施 '17年スタート

シマノトルコは、毎年お客様にもご協力いただき植樹活動を実施しています。2019年は1,000本の木を植え、地方自治体のリーダーにも参加いただきました。また、植樹エリアまでの移動はSHIMANO STEPS搭載のEバイクを試乗いただく機会となりました。

〈環境保護への取り組み〉

🇨🇳 Earth Hour 活動に参加 '16年スタート

シマノ昆山は、Earth Hourの公共福祉活動に参加し、グリーンサイクリング、ゴミの分別、衣類のリサイクル、消灯などを通して、地球環境保全を訴えました。



🇰🇷 世界環境キャンペーンに参加 '15年スタート

シマノカンボジアでは、「I love My City」をテーマとして2015年に始まった世界環境キャンペーンを祝い、35名の従業員が社屋の前を通る国道のプラスチックゴミを清掃しました。

〈環境負荷の低減〉

🇺🇸 休憩室とオフィスでリサイクルを実施 '15年スタート

Innovative Textiles, Inc.の全ての休憩室には、従業員がリサイクル資源を入れるボックスを設置しています。またオフィスの各所に再利用に回す紙を回収するための箱を設置しています。



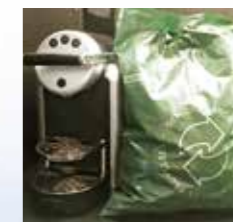
🇺🇸 アセトンのリサイクルを実施 '19年スタート

Innovative Textiles, Inc.では、染料のアセトン成分を蒸留除去する工業用溶剤でスクラップ染料を処理しています。このアセトンは、新しい染料をつくるのに再利用でき、これにより、施設から出る有害廃棄物を減らし、最終的にはなくすことを目指しています。



🇺🇸 Earth Day の交換会を実施 '19年スタート

Innovative Textiles, Inc.では、Earth Dayを祝い、従業員が大切に使った不用品を持ち寄りました。それを別の従業員が無料で持ち帰ることで、埋め立てられるゴミの量を減らすとともに、新しい持ち主の手に渡ることでものを大切に使う姿勢を実践しています。



🇧🇪 コーヒーパッド等のリサイクルを実施 '19年スタート

Lazerは使用済みのコーヒーパッドを集めてリサイクルを始めるなど、オフィスで行える様々なリサイクル方法を模索しています。また、従業員全員に、事務用品の適切なリサイクルや、出荷用の梱包材の再利用を奨励しています。



🇨🇳 騒音監視を実施 '99年スタート

シマノ昆山では、工場内の騒音を監視するシステムを構築しています。オンラインで常に騒音を監視し、そのデータを用いて職場環境の向上を図っています。

信頼の構築

—— 地域社会に企業市民として参加し協働する

地域社会とのコミュニケーションを密にし、企業市民として共存・共栄を図ることは、当社の理想とする企業姿勢です。日本はもとより、世界各地に拠点を置く地域社会の一員として、地域と一体となって取り組める活動を積極的に行っています。

安全で楽しい自転車利用を目指して

🇨🇪 パンプトラックの建設を支援

'19年スタート

シモノチェコは、カルヴィナー・ホイールクラブが自転車のパンプトラックを建設するための資金的援助をしています。



🇫🇷 女性のレーシングチームを支援

'16年スタート

シモノフランスは、女性のロードレースチーム、FDJ Nouvelle Aquitaine Futuroscope を支援し、女性がロードバイクに乗ることを促進しています。

🇵🇱 孤児院で自転車を整備

'18年スタート

シモノポーランドの従業員とその家族は、地元の孤児院を訪問し、8台の自転車の掃除、潤滑油注入、部品交換などの整備をしました。また、子どもたちに贈り物をしました。



🇵🇱 学校訪問の実施

'18年スタート

シモノポーランドでは、従業員が近隣の学校を訪問し、子どもたちに自転車の進化やシモノの歴史を紹介しました。また、自転車のメンテナンス方法や路上での安全な乗り方について講義と実習も行ないました。

🇨🇳 幼稚園での自転車授業

'08年スタート

シモノ上海では、6~7歳の幼稚園児たちにスポーツ自転車についてお話をしました。自転車文化に触れたことは、子どもたちの興味を開拓すると同時に、シモノの潜在的なお客様の幅を広げることにもなりました。



🇧🇷 交通安全の啓発活動を支援

'17年スタート

シモノラテンアメリカは、サンパウロ交通局などが実施するYellow May (世界的な交通安全啓発運動) の公式サポーターです。2019年はサンパウロの2つの大通りにある自転車レーンで、全てのサイクリストを対象にテクニカルサポートを行ないました。



🇧🇷 自転車による宅配のワークショップを実施

'19年スタート

シモノラテンアメリカは、食料品の宅配アプリサービスで働く若いサイクリストの増加にともない、経験不足や低品質な装備による事故も増えていることを受けて、サービスの品質向上のためのワークショップを開催しました。約120名が、専門家による講演とメカニックの基礎講座に参加しました。



🇸🇬 交通安全公園で自転車の点検修理を実施

'08年スタート

シンガポール警察と交通安全コミュニティは、交通安全公園で子どもたちに交通安全教育を行ない、年間5万人以上が参加しています。2019年はシモノシンガポールの27名の従業員が同公園で1,300台の自転車の点検修理を行ない、シンガポール警察から感謝状を贈られました。



🇸🇬 自転車の空気入れステーションの維持管理

'15年スタート

交通安全公園にシモノシンガポールが設置した空気入れステーションは、年々利用者が増えています。色鮮やかで興味をそそる構造が、ライダーや子どもたちを惹きつけています。CSR委員会は継続的にステーションと空気入れを補修管理し、休日も従業員が点検を行なっています。



🇺🇸 MTBトレイルのメンテナンスを実施

'05年スタート

PEARL IZUMI USA はボールダー MTB 協会およびリビル市と連携して、ボールダー郡のMTBのトレイルと自転車道の清掃と整備を行なっています。



子どもたちの教育支援

🇨🇳 小学生を工場見学ツアーに招待

'14年スタート

シモノ昆山では、地元の小学校の児童たちを、クンシャン・インテリジェント・プラント (KIP) の工場見学に招待しました。



恵まれない家庭の子どもたちを支援 '17年スタート
シマノ連雲港は、毎年、家庭環境により十分な教育を受けられない子どもたちに、通学用のカバンや靴、本などの学用品を贈っています。



小学生に学用品を贈呈 '16年スタート
シマノフィリピンは、地元の小学校を訪問し、学用品の入った袋を贈りました。袋の中身は、ノート、クレヨン、鉛筆、消しゴム、おやつなどです。この活動は、従業員の地域に対する社会的責任の意識向上にもつながります。



小学校で Brigada Eskwela を実施 '11年スタート
シマノフィリピンは、地元の小学校で Brigada Eskwela (教育省が先導し、家庭や企業も含めた社会全体で教育を支える取り組み) を実施しました。従業員が講師となり、教材を使って学校や家庭での健康や衛生、安全の基礎知識を説明し、地震の際の避難訓練も行いました。



学生インターンシッププログラム '14年スタート
Innovative Textiles, Inc. はコロラド・メサ大学と提携して、人事、工学、IT、会計・財務を専攻する学生にインターンシッププログラムを提供しています。

大学生を会社と工場見学に招待 '14年スタート
Innovative Textiles, Inc. は、コロラド・メサ大学との提携関係をさらに強化するため、同大学の学生を会社見学と工場見学ツアーに招待しています。

高校生の職業研修プログラム '19年スタート
Innovative Textiles, Inc. は、地元の学区の職業教育プログラムに協力して、高校生に物流技術者と保守技術者の研修プログラムを提供しています。



天津の大学生に奨学金を授与 '14年スタート
シマノ天津は、恵まれない学生が学業に専念できるよう、天津工業大学と天津大学の学生に奨学金を授与しました。



寄付活動

NCSSEF の漁業振興プロジェクトに寄付 '19年スタート
G.Loomis は North Coast Salmon & Steelhead Enhancement Fund (NCSSEF) の資金調達イベント The North Coast Salmon Rendezvous に寄付をし、オレゴン州北部沿岸の漁業振興プロジェクトの資金をつくるという目標を応援しています。



Fly Fishing Collaborative を支援 '19年スタート
G.Loomis は、貧困と人身売買に対する持続可能な解決に取り組む組織 Fly Fishing Collaborative に寄付をし、その活動を支援しています。



Got Your 6 Fishing (GY6) に釣具を寄贈 '19年スタート
Got Your 6 Fishing は、現役軍人と退役軍人がレクリエーションを通して精神と身体を癒やし、交流の機会を提供する非営利団体です。退役軍人に敬意を表し、G.Loomis は GY6 にロッドとリールを寄贈しました。

Shop with a Cop の募金に協力 '13年スタート
G.Loomis では、地元ウッドランド警察署と協力し、従業員が募金などを通じて集めたお金を、警察官が恵まれない子どもたちにクリスマスプレゼントを贈る Shop with a Cop に寄付しています。また従業員がボランティアで当日の手伝いをします。



チャリティライド Pedal 4 Possible を実施 '13年スタート
PEARL IZUMI USA は、脳や脊髄の損傷の治療に従事する病院を支援するため、チャリティライドを実施しています。患者が日常生活に復帰するためのリハビリプログラムを支える資金を調達します。趣旨に賛同する多くのアスリートが参加し、従業員がイベントの運営を支えます。



レロスカ財団の活動を支援 '19年スタート
G.Loomis は、レロスカ財団の教育プログラムと活動を支援する資金調達に協力しています。この財団は1977年に北米先住民の豊かで多様な文化遺産の研究を支援・奨励することを目的に設立されました。



CliniClowns に寄付・支援 '10年スタート

シマノベルクスとシマノベルギーは、お客様向けの様々なイベントを実施しています。チェーンやブレーキパーツの交換などのメンテナンスサービスには少しの寄付をお願いし、その全額を、入院中の子どもたちを笑顔にすることを目的に活動する慈善団体の CliniClowns に寄付しています。



孤児院の自立プロジェクトを支援 '19年スタート

シマノチェコは、地元の孤児院に対して、子どもたちが自立した後のサポートを行う After Becoming Adult のプロジェクトに資金を援助しています。

ボランティアの消防隊を支援 '19年スタート

シマノチェコは、地域のボランティアの消防隊が用具を購入するための資金を援助しています。

専門学校の実習コンテストを支援 '19年スタート

シマノチェコは、長年提携しているカルヴィナーの中等技術専門学校が実施する実習コンテストにおいて、顕彰するための資金を援助しています。

社会福祉施設を支援 '19年スタート

シマノチェコは、教育を目的として、社会福祉施設に資金を援助しています。

ダイジェスト・サイエンス財団への寄付 '10年スタート

シマノフランスでは、テクニカルサポートチームがさまざまな自転車イベントや展示会に参加して、修理や整備を行ない、お客様からいただいた代金の2倍の額を、年末に消化器疾患を研究する財団に寄付しています。2019年は5,000ユーロを寄付しました。

MTB 財団の活動に協力 '17年スタート

シマノフランスは、MTB のトレイルのメンテナンスと、フランスにおける MTB のプロモーションをしています。

Nobel Gift 活動に参加 '15年スタート

シマノポーランドでは、クリスマスの時期に、恵まれない人たちに少しでも喜びと明るさを感じてもらうため寄付や贈りものをするポーランド固有の Nobel Gift という慈善活動に継続的に参加しています。



技術訓練の収入を福祉施設に寄付 '19年スタート

シマノラテンアメリカは、販売代理店とともに、技術訓練で得られた登録料収入の全額を、子どもの安全安心な生活を支援するとともに、MTB の乗り方教室を実施している児童福祉施設に寄付しました。



慈善団体に食料を寄付 '11年スタート

シマノラテンアメリカは、シマノフェストの期間中、来場者に食べ物を持ち寄っていただき、約4トンの食べ物を慈善団体に寄付しました。



地元孤児院への寄付活動 '14年スタート

シマノカンボジアでは、地元の孤児院に毎月1トンの米を寄贈しています。また、クメール正月とプチュムベンの祝日には孤児院を訪問して一緒にお祝いします。



企業市民として

Manufacturing Week
バスツアーが会社を訪問 '19年スタート

G.Loomis は、Association of Washington Business が主催し、ワシントン州を横断する毎年恒例の Manufacturing Week バスツアーの訪問を受けました。Manufacturing Week は、ワシントン州の製造業のよさを知ってもらうことを目的としています。



団体献血を実施 '07年スタート

シマノバタムはインドネシア赤十字に協力し、年に2回(4月と10月)団体献血をしています。2019年は198パックの血液が集まりました。



🇵🇭 団体献血を実施 '16年スタート

シマノフィリピンは、フィリピン赤十字に協力し、第4回目となる毎年恒例の団体献血を行い、40名の従業員が450ml献血をしました。参加者には体力回復のための軽食を提供しました。



🇲🇾 団体献血を実施 '00年スタート

シマノマレーシアは、地元の主な病院と協力して、従業員による献血を実施しています。今回は305パックの血液が集まり、2000年以降の累計は4,122パックとなりました。



🇨🇳 お年寄りへの感謝 '09年スタート

シマノ昆山では、重陽節に先立ち、地元のお年寄りを訪問してお礼の気持ちを届けています。2019年は萍郷市を訪れました。



🇨🇳 従業員の故郷を訪問 '13年スタート

シマノ昆山では、会社側と労働組合の代表が従業員の故郷を訪れ、感謝を込めて実家の家族に月餅やプレゼントを贈りました。



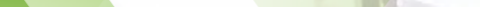
🇨🇳 産学連携の研究室を開設 '18年スタート

シマノ昆山は、新しい産学連携のありかたを探るため、産学連携の研究室を開設しました。専門的な知識・教養というテーマについて話し合う活動を常州工学院図書館で行ないました。



🇨🇳 地元の老人ホームを訪問 '19年スタート

シマノ天津では、東麗区の老人ホームを訪問し、高齢者が孤独に感じないよう、親身になって話をしたり、贈りものをしたりしました。



🇸🇬 May Day Awards で「STAR賞」を受賞 '19年スタート

シマノシンガポールは、シンガポール全国労働組合会議 (NTUC) 主催の May Day Awards の授賞式で「STAR賞」を受賞しました。この賞は、過去に「Gold賞」を受け、その後も労働環境に対して著しい貢献をしてきた企業に贈られます。シマノシンガポールは、2009年に「Gold賞」を受賞以来、継続的に労働条件向上の大きな努力をしてきたことが評価されました。



🇲🇵 社会福祉財団への協力活動 '18年スタート

シマノ台湾では、精神または知的障がいのある子どもたちを支えるマリア社会福祉財団へ出向き、子どもたちの作った月餅の包装を手伝うとともに、それらを購入して中秋節の贈りものとしてお客様にさしあげました。



🇲🇾 サプライヤー様への安全講習 '03年スタート

シマノマレーシアは、サプライヤー様に対して、現場での安全と健康に関する情報について説明しました。



🇧🇷 NGO とパートナーシップを樹立 '19年スタート

シマノラテンアメリカは、NGOのSafe Kids Worldwideとパートナーシップを樹立しました。親子に事故のリスクに関する教育をし、安全な習慣と行動を促進することが目的です。



🇧🇷 アートのオークションで福祉施設の活動を支援 '19年スタート

シマノラテンアメリカは、シマノフェストの期間中、画家 Apolo Torres のライブペインティングを実施し、完成した作品をオークションにかけました。売上金は、子どもの安全安心な生活を支援するとともに、MTBの乗り方教室を実施している児童福祉施設に寄付しました。



🇮🇹 キッズフィッシングイベントを支援 '19年スタート

シマノベネルクスとシマノヨーロッパでは、障がいのある子どもたちへの寄付を集める団体が毎年開催する釣りイベントに、釣具を提供するとともに、従業員が子どもたちに釣りのしかたを教えました。



🇺🇸 JIME プログラムを支援 '09年スタート

シマノオーストラリアは JIME (Junior Indigenous Marine and Environmental Cadets) プログラムのメインスポンサーの1つです。このプログラムは、先住民の子どもたちが中等学校在学中に、釣りや海洋関連の産業で働くためのトレーニングプログラムを受ける機会を提供するものです。



社会活動報告書を読んで

2019年は米中貿易摩擦による中国経済の減速、欧州での英国 EU 離脱、国際金融市場の動揺などに加え、世界的に自然災害が続発した。他方ビジネスでは、デジタル・トランスフォーメーション (DX) が進展したが、人々は一層自然とのふれあいの中での遊びや健康などの価値を求めるようになったのではないかと考える。それに応えたチームシマノは経営理念に基づき、業績を向上させ、本報告書のとおり社会的責任を果たしていると考えている。



今回の社会活動報告書は4つの分野でまとめられている。こころ躍る製品の提供と体験による企業価値の向上を目指して、楽しさの機会と体験から生まれるくよるこびの高揚、自然や生活環境に配慮したく利用環境の改善と保全、世界各地域での企業市民活動によるく信頼の構築であり、特に各地域での活動を簡潔に具体的に報告している。国連サミットでの SDGs (持続可能な開発目標) は17の目標に169のターゲットが定められており、近年はそれに向けての具体的な活動の報告が求められているので的を得ていると言える。

自転車部品事業では電動アシストバイクの急速な普及を受けた「SHIMANO STEPS」E6180 / E5080シリーズやマウンテンバイク用コンポーネッツ「SHIMANO DEORE XT」M8100シリーズ、太いタイヤで長距離ライドを楽しむコンポーネッツ「SHIMANO GRX」など、ユーザー体験の中から製品化した成果であろう。Eバイクは人力とエレクトロニクスの融合が健康と資源の両面で評価されている。釣具事業ではより軽量で強いスピニングリール「Vanquish」や、小魚形のルアー使用のジギング対応電動リール「Beast Master 2000 EJ」は人の手より速く細かく動く製品と言われる。米国フロリダ州オーランドにおける世界最大級釣具展示会 ICAST で、リール製品など複数受賞したことも国際的評価の高さを示している。

またシマノを支える社員への研修、教育、社内啓蒙活動など多くを実施している。リーダーシップ養成プログラムでは、海外ディーラーの協力で販売員として現地派遣したり、社員教育で企業理念、ものづくり思想、企業文化の浸透に力を入れている。動画研修の世界各地での実施は共通の企業理解を習得するのに有効だろう。講義、ワークショップ、動画、現場 OJT、eラーニング、さらにメカニック講座など多様な研修方法の組み合わせは人づくりへの真剣さを見ることができている。特に日本、米国、マレーシア、中国拠点で実施された緊急事態の対応訓練、応急処置訓練、消防演習、安全教育などの危機管理関連研修は近年特に注目されている。

くよるこびの高揚>として今回は2019年4月オープンした Shimano Experience Center (SEC) を主に取り上げた。人々が自転車、釣り、ロウイングの楽しさを体験、交流する場としてオランダのファルケンブルグに設立され、ウェルカム・ラウンジ、イベントスペース、自転車、釣り、ロウイング、歴史の6つのコーナーがある。P. コトラーは顧客の視点から企業やブランドがオファーする3つのものを挙げ、まず喜びの製品、つぎに顧客体験、最高レベルは顧客とのエンゲージメントとした。SEC はその契機づくりのステージということだろう。国内では東京青山に情報発信の OVE、大阪梅田にシマノスクエア、堺に自転車博物館等の施設があり、レースや釣りイベントも世界各地で主催、協賛している。

アウトドア・スポーツのフィールドであるく利用環境の改善と保全>はシマノの基本的命題の位置づけで、今回は世界各地の生産拠点の排水処理の取り組みを主に報告した。各国各地域の法規制・ガイドラインの順守だけでなく、排水処理は当然の義務と認識している。排水量の半分近くを再利用したり、放流前に分析するなど堅実な処理がなされており、評価できる。2004年以降のシマノグリーンプラン (SGP) は協力会社と協働し、法規制の変更、顧客要請に応じて改訂、常に分析するなど、SGP9版の運用がステージ3の活動としてロードマップに沿って進められており今後も継続的努力を望みたい。また工場、海岸、道路の身近な清掃やリサイクル交換会などの従業員の活動から彼らの環境意識の高さを知ることができる。

地域社会との共生を図るく信頼の構築>は世界各地の拠点で企業市民活動として展開している。例えばポーランドでは学校や孤児院で自転車の乗り方、手入れ、整備を教えたり、米国では病院支援のチャリティライド、フィリピン、インドネシア、マレーシアでは赤十字に協力して従業員が献血するなど多様な貢献活動をしている。シチズンシップが根付いていることを示すものだろう。

本報告書でシマノの社会活動が3つの方針に基づき、世界各地の拠点で SDGs の目標をベースにしたターゲットに絞り込み、着実に実践されていることを確認できた。デジタル経済が進むほど、人々は自然とのふれあいの中で遊びや健康を求めるようになると言われる。2021年に向け「SHIMANO」がサステナブルな「価値創造企業」であることを期待したい。

Closer to Nature,
Closer to People



株式会社シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地

広報部 広報課

Phone : 072-223-3957

Fax : 072-223-6045